【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公開番号】特開2003-183367(P2003-183367A)
【公開日】平成15年7月3日(2003.7.3)
【出願番号】特願2002-369293(P2002-369293)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０８Ｇ　63/183
　Ｃ０８Ｊ　 5/00
　Ｃ０８Ｊ　 5/18
// Ｃ０８Ｌ　67:00
【ＦＩ】
　Ｃ０８Ｇ　63/183
　Ｃ０８Ｊ　 5/00　　ＣＦＤ
　Ｃ０８Ｊ　 5/18
　Ｃ０８Ｌ　67:00

【手続補正書】
【提出日】平成16年3月4日(2004.3.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
主たる繰り返し単位がエチレンテレフタレートであるポリエステルであって、ファインを０．１～５００ｐｐｍ含有し、該ポリエステルを溶融成形して得た成形体を昇温結晶化した場合に生成する球晶数が２×１０^{9}～１００×１０^{9}個／ｍ^{2}の範囲にあることを特徴とするポリエステル。
【請求項２】
該ポリエステルを溶融成形して得た成形体のヘイズが、１５％以下であることを特徴とする請求項１記載のポリエステル。
【請求項３】
ポリエステルの極限粘度が、０．５５～０．９０ｄｌ／ｇ、ポリエステルに共重合されたジエチレングリコール含有量が、該ポリエステルを構成するグリコール成分の１．０～５．０モル％であることを特徴とする請求項１または２に記載のポリエステル。
【請求項４】
ポリエステルの密度が、１．３７ｇ／ｃｍ^{3}以上であることを特徴とする請求項１、２または３に記載のポリエステル。
【請求項５】
ファイン含有量が、０．１～１００ｐｐｍであることを特徴とする請求項１、２、３または４に記載のポリエステル。
【請求項６】
ファイン含有量が、０．１～１０ｐｐｍであることを特徴とする請求項１、２、３、４または５に記載のポリエステル。
【請求項７】
アセトアルデヒド含有量が、１０ｐｐｍ以下であることを特徴とする請求項１、２、３、４、５または６に記載のポリエステル。

【請求項８】
環状３量体含有量が、０．５重量％以下であることを特徴とする請求項１、２、３、４、５、６または７に記載のポリエステル。
【請求項９】
２９０℃の温度で６０分間溶融した時の環状３量体増加量が、０．３０重量％以下であることを特徴とする請求項１、２、３、４、５、６、７または８に記載のポリエステル。
【請求項１０】
重縮合触媒としてＧｅ化合物および／またはＴｉ化合物を用いて得られたものであることを特徴とする請求項１、２、３、４、５、６、７、８または９に記載のポリエステル。
【請求項１１】
請求項１、２、３、４、５、６、７、８、９または１０に記載のポリエステルからなることを特徴とする中空成形体。
【請求項１２】
請求項１、２、３、４、５、６、７、８、９または１０に記載のポリエステルを押出成形してなることを特徴とするシート状物。
【請求項１３】
請求項１２記載のシート状物を少なくとも１方向に延伸してなることを特徴とする延伸フィルム。